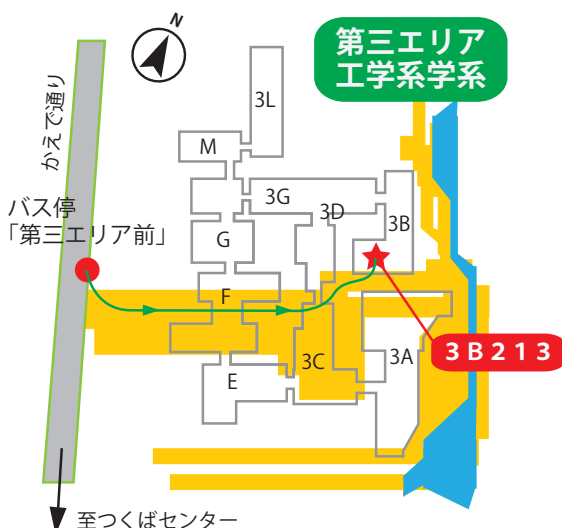
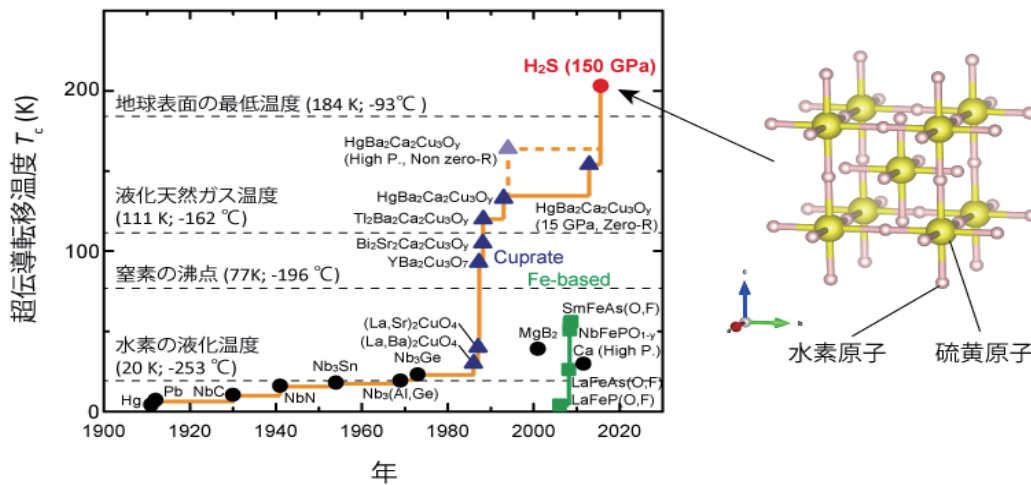


200 K を超える硫化水素の 超伝導相の結晶構造

大阪大学大学院基礎工学研究科
附属極限科学センター特任助教

榮永 茉莉 博士

2014 年に発見された超高压下の硫化水素が示す超伝導は、それまでに知られていた超伝導臨界温度の最高値を 30 K 以上も上回る 200 K 級の「高温超伝導」であることが明らかにされました。私たちのごく身近にも存在する硫化水素が今、物質科学研究の最先端材料として大きな注目を集めています。講師は、超伝導発現のメカニズムを結晶構造の観点から解明するために世界中を飛び回り研究されています。セミナーでは 200 K 級超伝導の発見のいきさつから実験現場での苦労や失敗に加え、これまでに解き明かされてきた新たな知見について、分野外の研究者・大学院生にもわかりやすく解説していただきます！



2016年10月25日(火) 14:00 -
第三エリアプレゼンテーションルーム 3B213

※入場無料, 事前申込不要!

詳細: <http://www.ims.tsukuba.ac.jp/seminar.php>

コーディネーター
数理物質系 辻本学 tsujimoto@ims.tsukuba.ac.jp